

掲載日 : 平成 22 年 11 月 12 日

掲載紙 : 広島経済レポート (3 面)

溝のすき間を狭くし安全性確保 新開発のグレーチング2品発売

ダイクレ

どの評価が高く、
が付きそつだ。

グレーチング(格子状の溝ふた)製造でトップシェアの(株)ダイクレ(呉市築地町、山本浩社長)は、新商品「極細目ワイニングラスグレーチング」と「ステンレス製Mバーグレーチング」を開発し、市場投入した。同社がメインテーマとする安心・安全の街づくりを主眼に開発。官庁や設計コンサルタントな

両商品は溝のすき間が狭く、ハイヒールの踵が落ち込まず草靴も滑りにくいなど歩行時の安全性が高い。タバコの吸殻やペビーカー、車いすなどの細く小さいタイヤが落ち込まないなどの特徴がある。従来の細目グレーチングのすき間一〇ミリやワイニングラスの同七・四ミリに比べ、新開発の極細目ワイニングラスはすき間が四・六ミリ。ペアリングバーの断面が広がり目詰まりしにくい上、充てん用素材は周囲の景観に調和するよう標準レジンコンクリート(五色)のほか、リサイクルガラスや木材の流用もできる。溝幅が一五〇〜四五〇ミリのSYUと二〇〇〜六〇〇ミリのSYOの二タイプあり、どちらも荷重条件はT-2(二才)対応。本体と受枠とのセットで、一枚当たり一万九〇〇〇〜三万八二〇〇円。

軽量でさびにくい歩行者専用のステンレスMバーは、既存品のすき間七ミリから四・八ミリまで狭めた。幅一二ミリのピッチ(突起)は表面加工がノンスリップ(意匠登録中)とブレーションから選べる。溝幅一〇〇〜三五〇ミリの逆目歩道、同一〇〇〜四〇〇ミリの歩道、玄関マット(六〇〇×四〇〇ミ)の三種

類があり、本体と受枠のセットで二万二〇〇〜五万三二〇〇円。道路や環境整備を主体に需要拡大を見込む。